HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学哲学会の解散と北海道哲学会との統合及び本誌北海道大学哲学会『哲学』の廃刊について
Citation	哲学, 56
Issue Date	2024-12-13
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/95653
Type	other
File Information	56_t11.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道大学哲学会の解散と北海道哲学会との統合
及び本誌北海道大学哲学会『哲学』の廃刊について[1]

従来、本北海道大学哲学会と北海道哲学会は夏、冬の研究会を合同で開催してきました。また両学会は 7 割以上の会員が重複しており、両学会に所属する会員は自分が「北海道哲学会」の会員として参加しているのか、また「北海道大学哲学会」の会員として参加しているのかについても特に意識をしていないという状態が続いてきました。両学会の会員になっている方が従来二誌刊行してきた学会誌(北海道大学哲学会『哲学』及び北海道哲学会『哲学年報』)のどちらに投稿するのかも、事務局と投稿者が相談して決めてきました。かつて北海道大学哲学倫理学研究室では、旧哲学講座と旧倫理学講座のそれぞれに 1 名ずつ助手(助教)が配置され、計 2 名の助手(助教)が両学会の業務を分担して担当してきました。しかし 2014 年夏に旧倫理学講座の助教が退職されて以降、哲学倫理学研究室助教が一人で両学会の事務局業務を担当してきたため、業務負担が大きく、学会誌刊行遅延の原因の一つとなっていました。

そのような事情を踏まえて、北海道大学哲学会運営委員会では北海道大学哲学会を北海道哲学会に統合する方針を確認し、2022 年 12 月 10 日に開催された北海道大学哲学会臨時総会において北海道大学哲学会の解散と北海道哲学会への資産の移管が正式に決議されました。それに伴い、北海道哲学会の事務局も北大の外に移すことにしました。

そのため本誌・北海道大学哲学会会誌『哲学』も廃刊することになり、本第 56 号が最終号となります。第 1 号の刊行された 1964 年から、およそ半世紀以上にわたり刊行され続け、北海道大学文学部・文学研究科の哲学倫理学及び関連する研究室の院生、修了生、教員の研究成果を公表する媒体として機能してきた本誌の廃刊は誠に残念なことではありますが、諸事情を勘案した結果このような決定に至りましたことをご理解いただきたいと思います。北海道哲学会の会誌『哲学年報』は刊行を続けており、今後は北海道大学文学研究院において哲学倫理学および関連分野の研究者の研究成果は『哲学年報』に掲載されることが期待されます。

なお、従来、夏・冬に両学会の合同開催という形で実施してきた研究大会についても、2023 年以降は北海道哲学会の研究大会として実施しています。

以上のように本学会は解散し、本誌も廃刊となりますが、北海道哲学会の活動にご協力いただければ幸いです。

2024 年 12 月

北海道大学哲学会会長　蔵田　伸雄

北海道哲学会会長　　中川　大

---

[1] HUSCAP での公開にあたって追補しました。